

経済産業大臣 赤澤 亮正様
環境大臣 石原 宏高様

**太陽光パネルの大量廃棄にNO！
太陽光パネルのリサイクル義務化を求めます**

太陽光パネルは100%リサイクル可能です。太陽光パネルの廃棄量は、2040年頃には年間40万トン規模に達する可能性が指摘されており、早ければ、FIT制度初期の買取期間が終わる2030年代前半には急増することが見込まれるため、既設分の対応を含めたリサイクルの義務化は急務の課題です。こうした背景もあり、環境省と経産省は審議会で検討を進め、2025年の通常国会でリサイクル義務化の法制化を目指していました。また、今年2月に閣議決定されたばかりの第7次エネルギー基本計画でも、義務的リサイクルの検討を進める方針が示されています。

しかし、2025年8月、いったん政府でまとめた方針でのリサイクル義務化を見直すとの発表がありました。理由は、自動車や家電などのリサイクル法では、使用者がリサイクル費用負担となっていて、今回の案では製造者負担となっていることや、太陽光パネルの埋め立て処分とリサイクル費用の差が現状では大きいことが挙げられています。

義務化されなければリサイクルは広がらず、リサイクル費用は高いままとなり、結果としてリサイクルされない悪循環が懸念されます。リサイクルが義務化され、確実にリサイクルが行われるようになることで、コストは安くなっていきます。

太陽光パネルの大量廃棄は、“起きるかもしれない”ではなく、“このままでは起きてしまう”事態です。

太陽光パネルのリサイクル義務化を求めるおおぜいの市民の声を政府に届けましょう。

私たちが求めること

- ・太陽光パネルのリサイクル義務化を一刻も早く進めること
- ・太陽光パネルのリサイクルが一層進むよう、体制を整えること

氏名	都道府県	住所

【署名呼び掛け団体】

Climate Action Network Japan (CAN-Japan)

【署名〆切】 2026年1月30日（金）

【呼びかけ団体】 一般社団法人 生活クラブエネルギー事業連合

<署名のご注意>①代筆可能です。遠距離の場合など同意を得て代筆することも可能です。②名前はフルネーム。名字が同じ場合でも省略せず記載してください。③住所は町名まででも大丈夫です。④書き換え防止のため消せるインクや鉛筆は使用できません。